

学校だより

## にしとべの丘

Nishi-Tobe no Oka

横浜市立西中学校

2022(令和4)年

2月 1日



## GIGA スクール構想を契機として

〈校長 石川 博〉

あたら とし ほんねん にしちゅうがっこう ねが  
新しい年になりました。本年も西中学校をよろしく願ひいたします。

い ず まつぎき いわしながっこう めいじじだい こうしゃ かべ ようふう  
伊豆の松崎に岩科学校という明治時代の校舎があります。なまこ壁に洋風のバルコニーがあるす  
てきな校舎です。当時の人々が「わが町に学校を」と、地域で集めた莫大な資金を投じて建てたも  
のです。エリートを養成する学校ではありません。村の子どもたちが通う学校です。そこには当時  
としては最先端の設備がありました。一般家庭にはないオルガンもあって、当時の子どもたちは  
学校へのあこがれをもっていたのではないかと思います。

にっぽん れきしてき み ほん みんかん きょういく さか ぶし しきじりつ ばくまつ ころ  
日本は歴史的に見ても藩や民間での教育が盛んでした。武士はほぼ 100%の識字率、幕末の頃の  
庶民の識字率は 70%ともいわれています。かわらばん よ もの は や  
当時のイギリスでさえ識字率は 20%程度といわれていますから、ペリー一行が驚愕したことは  
無理もありません。

めいじ なるてき きょういく せいど きょういくひ こっかよさん ていど いま  
明治になって教育の制度ができますが、教育費は国家予算の 1～2%程度でした。今でも GDP に  
占める教育費の割合は OECD加盟国 中最下位に近い状態です。つまるところ、日本では昔から地域  
の人々と教師の涙ぐましい努力によって高い教育水準を維持してきたといえるのではないでし  
ょうか。

しんがた かんせんかくだい くに かか こうそう きゅうそく すす こく  
新型コロナウイルス感染拡大によって、国が掲げるGIGA スクール構想が急速に進みました。国  
は令和元年から令和2年にかけて 3,149億円の予算で一人1台の端末を整備しました。お陰様で西  
中学校でも端末を授業と家庭学習で使用しています。大変ありがたいです。でもまだまだです。  
ながおかはん こめひやびょう はなし し きょういく みらい とうし  
長岡藩の米100俵の話はよく知られているところですが、教育は未来への投資です。GIGA スク  
ール構想を出発点として教育にもっと予算をかける時代になってほしいと思います。



## ぶかつどうこうりゅうかい 部活動交流会

1月11日(火)と13日(木)の2日間、西前小学校との部活動交流会を行いました。例年は実際に生徒と一緒に小学生が部活動を体験していますが、感染症対策で2日間に分けて見学という形で行いました。

部活動各部の部長が主体となって、丁寧に活動内容を説明したり質問に答えたりして、実際の活動を伝えることができました。最初はお互いに緊張していた様子でしたが、見学会が終わる頃には児童・生徒ともに来年度の部活動への期待を話す様子が印象的でした。



## あか きょうしつ 赤ちゃん教室

12月14日(火)2校時、体育館で西区こども家庭係による赤ちゃん教室が行われました。

はじめに、様々な映像や人形、音声を使って、赤ちゃんがお母さんのお腹の中でどのように成長してどうやって生まれてくるのかを、わかりやすく講義していただきました。その中で、お母さんの大変さももちろんのこと、赤ちゃん自身のがんばりもあって生まれてくるのだというお話が印象的でした。

体験学習では代表生徒の「妊婦疑似体験」と人形を使った「だっこ体験」を行いました。

未来のお嫁さんに子どもが生まれたときに、自分がどのようにサポートすればよいかわかった。



体験や見学を通してたくさんの苦勞や生まれてきた時のほかりしれない感情を改めて知ることができました。

短い時間ではありましたが、内容の濃い充実した授業になりました。

生まれてくることの確率や過程を見て自分の命に対しての考え方が少し変わりました。



## がくねん きゅうめい きゅうきゅうこうしゅうかい 2学年 救命・救急講習会



12月16日(木)、保健体育の授業の一環で、西消防署と西区消防団の方々を講師として2年生を対象とした救命・救急講習を行いました。

教室では座学で映像資料やパンフレットを使い緊急時の対応について理解を深め、体育館では実技でAEDを使用した救命処置(発見～心肺蘇生法)を行い、適切な初期対応が命を救うことにつながることを学びました。講習の最後には、参加者全員が普通救命講習修了証を受け取りました。

講習を通して正しい知識と技術を身に付けるとともに、一人ひとりの行動がとても大切だという意識をもつことができました。

### しょくい く しょく まな しょく まな 食育コラム「食で学ぶ 食を学ぶ」

元横浜市教育委員 長島 由佳

2022年が始まりました。皆様この寅年の初めに、この一年が明るく過ごせる事とともに、近い未来の平穏を願ったことでしょうか。良い環境となるよう、人とのつながりである良いご縁にもいっぱい恵まれることに期待をしてやみません。今年1年も「食」をツールに、皆様と繋ぎつないでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

さて、先日「食育講座」のビデオ撮影のため、西中にお伺ひしました。2年学年学級委員さんや担当教職員の方々とともに映像を作成しています。

視聴された皆さんがすぐに家族に振る舞いたくなるレシピやすぐに実践したくなるアイデアをお伝えしています。

今回のテーマは、身近な旬の食材を活用して「根菜・vitamin」などにスポットを当てています。おいしい出会いを楽しみにしてください。



また、「食べること」がどれだけ「人」を作るのかもお伝えできればと思ひます。その「人」とは、「身体(カラダ)」そのものであり、「心(ココロ)」でもあります。そしてすべての人の「将来」でもあります。皆さんが大人として経験を積んできたからこそ、伝えられることや伝えるべきことを実践できるように、コラムに加えて動画という形で表せば良いと考えています。

毎年、西中を訪ねて頼もしく感じるのは、明るく笑顔いっぱいの子どもの挨拶と教職員の方々の滂刺とした爽やかな振る舞いです。地域の安定と環境の良さを垣間見るひと時となります。新年早々、そんな空気の中で活動できる喜びとご縁に感謝しています。